

# ユニバーサルリズムに取り組む兵庫県



**城崎温泉地区**  
テーマは「外湯めぐり」をコンセプトに「ユニバーサル化」。温泉街に七つの外湯があり、これら外湯めぐりと風情ある街の歩きを楽しくめる城崎温泉は「まち全体が一つの大きな浴槽」。



**湯村温泉地区**  
「全土の人に優しいユニバーサルな足湯・湯が、温泉街散策の休憩に最適な「ポケットパーク」。



**丹波篠山市**  
波篠山は、国指定史跡の「波篠山城跡」や「波篠山古墳」など、歴史を感じさせる場所が多い。同市は「観光案内所」を設置し、ユニバーサル化を進める。

**3地区を「モデル」に選定**  
「ユニバーサルな観光地づくりモデル事業」が、兵庫県内3地区でスタート。これらはユニバーサル観光地づくりにモデルとなる。期間は最長1年間。エリア内観光関連施設のユニバーサル化を進める。

**ユニバーサルな観光地づくりモデル事業**  
ユニバーサル観光地づくりにモデルとなる。期間は最長1年間。エリア内観光関連施設のユニバーサル化を進める。

**観光案内所は車椅子でも利用しやすいよう、ローカンターの設置や玄関扉の内面開きへの改修を進める。**

**ひょうごユニバーサルな観光地づくりモデル事業**  
ユニバーサルな観光地づくりにモデルとなる。期間は最長1年間。エリア内観光関連施設のユニバーサル化を進める。

**ユニバーサルな観光地づくりモデル事業**  
ユニバーサルな観光地づくりにモデルとなる。期間は最長1年間。エリア内観光関連施設のユニバーサル化を進める。

**ユニバーサルな観光地づくりモデル事業**  
ユニバーサルな観光地づくりにモデルとなる。期間は最長1年間。エリア内観光関連施設のユニバーサル化を進める。

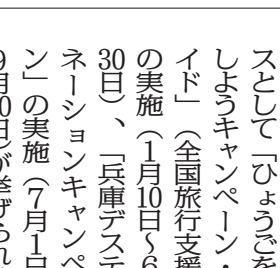
**ユニバーサルな観光地づくりモデル事業**  
ユニバーサルな観光地づくりにモデルとなる。期間は最長1年間。エリア内観光関連施設のユニバーサル化を進める。

**ユニバーサルな観光地づくりモデル事業**  
ユニバーサルな観光地づくりにモデルとなる。期間は最長1年間。エリア内観光関連施設のユニバーサル化を進める。

**ユニバーサルな観光地づくりモデル事業**  
ユニバーサルな観光地づくりにモデルとなる。期間は最長1年間。エリア内観光関連施設のユニバーサル化を進める。

## 全国初のUT条例

### 推進施策を多角的に展開



兵庫県は、高齢者や障害者など、誰もが気軽な旅行を楽しむ「ユニバーサルリズム」の推進に取り組んでいる。全国に先駆けてUT推進条例を制定。UTの推進施策を多角的に展開している。

「UT推進条例(高齢者、障害者等と連携しながら支障団体等と連携しながら取り組むこと)」を定める。ユニバーサル観光地づくりにモデルとなる。

「ユニバーサルな観光地づくりモデル事業」が、兵庫県内3地区でスタート。これらはユニバーサル観光地づくりにモデルとなる。

「ユニバーサルな観光地づくりモデル事業」が、兵庫県内3地区でスタート。これらはユニバーサル観光地づくりにモデルとなる。

「ユニバーサルな観光地づくりモデル事業」が、兵庫県内3地区でスタート。これらはユニバーサル観光地づくりにモデルとなる。

## 観光客は前年度比6.8%増の1億232万人

### 調査データ

## 令和5年度

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	全県
令和5年度	26,450	14,251	17,901	7,747	13,632	10,907	5,103	8,003	4,991	13,333	122,317
対前年度比	109.0%	107.2%	102.9%	105.2%	101.0%	130.5%	103.7%	100.0%	108.7%	104.0%	106.8%
対令和元年度比	74.7%	96.8%	94.5%	78.7%	97.8%	105.2%	82.5%	85.1%	98.4%	105.8%	89.6%
令和4年度	24,257	13,291	17,401	7,366	13,502	8,356	4,919	8,005	4,590	12,816	114,503
令和元年度	35,420	14,727	18,935	9,848	13,941	10,366	6,187	9,409	5,072	12,603	136,508

地域	対前年度増減(増減率)	主な増減要因
神戸	+219万人(+9.0%)	・県立美術館では特別展や共催展の開催により利用客を伸ばしたほか、布引ハープ園をはじめ多くの施設で新型コロナウイルス感染症の5類移行の影響により増加。
阪神南	+96.0万人(+7.2%)	・尼崎市記念公園の改修工事終了に伴う周年利用の再開、地元球団の阪神タイガース優勝に際し、阪神甲子園球場や甲子園歴史館に多くの来場者が訪れたことにより大幅に増加。
阪神北	+50.0万人(+2.9%)	・清荒神清澄寺等で新型コロナウイルス感染症の5類移行の影響もあり、初詣をはじめ参拝者が回復したため増加。
東播磨	+38.1万人(+5.2%)	・明石公園や加古川総合文化センター等多くの施設において、イベントの再開等で利用客が回復したため増加。
北播磨	+13.0万人(+1.0%)	・三木総合防災公園で高校陸上競技選手権等の野外競技利用が増加したことや、東条湖おもちゃ王国の団体客が回復した影響により増加。
中播磨	+255.1万人(+30.5%)	・姫路城世界遺産登録30周年記念事業の影響により姫路城、好古園、アクリエ姫路等で利用客が大幅に増加。
西播磨	+18.4万人(+3.7%)	・相生ペロン祭りがコロナ前の開催内容に戻ったことや赤穂大石神社義士史料館やうすくち龍野醤油資料館等で団体客が回復した影響により増加。
但馬	▲0.2万人(▲0.02%)	・新型コロナウイルス感染症の5類移行により、多くの施設・イベント等で利用客が増加したが、暖冬による雪不足でスキー場の一時休業が続いた影響により全体としては減少。
丹波	+40.1万人(+8.7%)	・デカンショ祭等多くのイベントの再開、丹波の森公園の大規模改修の終了等の影響により多くの施設で来園者が回復。丹波年輪の里でもイベントの開催が増え家族での来園者が回復し増加。
淡路	+51.7万人(+4.0%)	・新型コロナウイルス感染症の5類移行に加え、いざなぎ神宮や淡路ハイウェイオアシス等中心にテレビ放映等の機会が増えた影響により増加。

順位	観光施設名	入込客数
1	阪神甲子園球場 (西宮市)	4,104
2	伊弉諾神宮 (淡路市)	2,778
3	清荒神清澄寺 (宝塚市)	2,405
4	明石公園 (明石市)	2,302
5	宝塚北サービスエリア (宝塚市)	2,157
6	西宮神社 (西宮市)	2,080
7	淡路ハイウェイオアシス (淡路市)	1,590
8	姫路城 (姫路市)	1,480
9	フルーツ・フラワーパーク (神戸市)	1,309
10	三木総合防災公園 (三木市)	1,101

<区分>	県内観光消費額(名目)	観光産業県内総生産(実質(A))	県内総生産(実質)(B)	県内総生産(実質)比(C=A/B)(%)
令和5年度	15,677	7,803	230,966	3.4
対前年度比(%)	137.2%	138.0%	101.1%	-
対令和元年度比(%)	127.3%	120.1%	104.0%	-
令和4年度	11,429	6,082	228,536	2.5
令和元年度	12,312	6,985	222,089	3.1

区分	令和5年度		令和4年度		令和元年度		対前年度増減	対前年度増減率	対令和元年度増減	対令和元年度増減率
	入込客数	全体比	入込客数	全体比	入込客数	全体比				
全県	122,317	100.0%	114,503	100.0%	136,508	100.0%	7,814	6.8%	▲14,191	▲10.4%
日帰り客	110,848	90.6%	103,596	90.5%	124,668	91.3%	7,252	7.0%	▲13,820	▲11.1%
宿泊客	11,469	9.4%	10,907	9.5%	11,840	8.7%	562	5.2%	▲371	▲3.1%

兵庫県観光振興課の発表。5月8日には新型コロナウイルス感染症が5類移行となり、国内旅行は前年度比7.8%増の1億232万人となった。

同年の主なトピックとして「ひょうごを旅しよう」キャンペーン(ファクト)が実施された。実施期間は1月10日から3月31日まで。兵庫県内全域で実施された。

「ひょうごを旅しよう」キャンペーンは、県民が県内各地を訪れる機会を増やし、観光消費額を増やすことにつながる。実施期間は1月10日から3月31日まで。

「ひょうごを旅しよう」キャンペーンは、県民が県内各地を訪れる機会を増やし、観光消費額を増やすことにつながる。実施期間は1月10日から3月31日まで。

「ひょうごを旅しよう」キャンペーンは、県民が県内各地を訪れる機会を増やし、観光消費額を増やすことにつながる。実施期間は1月10日から3月31日まで。

「ひょうごを旅しよう」キャンペーンは、県民が県内各地を訪れる機会を増やし、観光消費額を増やすことにつながる。実施期間は1月10日から3月31日まで。

「ひょうごを旅しよう」キャンペーンは、県民が県内各地を訪れる機会を増やし、観光消費額を増やすことにつながる。実施期間は1月10日から3月31日まで。

(出典)：兵庫県統計課「兵庫県経済計算」、兵庫県観光振興課「兵庫県観光客動向調査」、観光庁「旅行・観光消費動向調査」の単価等を用いて推計